

平成19年12月期 第1四半期財務・業績の概況(非連結)

平成 19 年 4 月 26 日

上場会社名 日本精蠟株式会社

(コード番号:5010 東証2部)

(URL http://www.seiro.co.jp)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 吉田 泰邦

問合せ先責任者 役職名 常務取締役 氏名 井上 寛 TEL(03)3523-3530

1. 四半期財務情報の作成に係る事項

① 会計処理の方法における簡便な方法の有無 : 有 法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。 その他影響額が僅少なものについても一部簡便的な方法を採用しております。

② 最近会計年度からの会計処理の変更の有無 : 無

2. 平成19年12月期第1四半期財務・業績の概況(平成19年1月1日~平成19年3月31日)

(1) 経営成績進捗状況

	売 上	高	営業利	利益経常利益		四半期(純 利	当期) 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成19年12月期第1四半期	9, 378	0.1	767	23.4	701	32.0	410	175. 1
平成 18年 12月期第1四半期	9, 373	46.5	621	13.8	531	17.7	149	△66 . 8
(参考)平成 18 年 12 月期	38, 282	24. 4	2, 744	△0.2	2, 391	$\triangle 2.7$	1, 223	$\triangle 42.6$

	1 株当たり四半 (当期)純利益		潜在株式調整 後 1 株当たり四半期 (当期)純利益		
	円	銭	円	銭	
平成19年12月期第1四半期	18	35	_	-	
平成18年12月期第1四半期	6	67	1	-	
(参考)平成 18 年 12 月期	54	66	_	_	

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期(平成 19 年1月~3月)は、堅調を持続する米国や中国経済を背景に、国内景気は内需の底堅い動きを反映して引続き拡大基調で推移しました。一方、原油相場はその指標である WTI 原油価格が不安定な中東情勢を反映して、1月の 49 ドル/バレルを底に一転上昇を続け 3月には一時 68 ドル/バレルをつける等再び騰勢を強めてきました。

このような状況の中で、主製品のワックス販売は前年同期に比較して販売数量では 1,608 トン減の 21,272 トン、販売高では前期の製品値上げの浸透効果により 117 百万円増の 3,635 百万円の実績となりました。また、重油販売は前年同期と比較して販売数量では 5,615KL 増の 126,970KL、販売高では 111 百万円減の 5,730 百万円の実績となり、採算面では石油各社の稼働率低下により需給がタイトに推移したため当初予想を上回る改善を見ました。これにより、当第1四半期の実績は前年同期に比較して売上高ではほぼ横ばいの 9,378 百万円となったものの、収益面では営業利益で 145 百万円増の 767 百万円、経常利益で 170 百万円増の 701 百万円、四半期純利益で 261 百万円増の 410 百万円と失々当初予想を上回る実績となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成19年12月期第1四半期	29, 062	8,737	30. 1	390 22
平成18年12月期第1四半期	30, 513	7, 493	24. 6	334 63
(参考)平成 18 年 12 月期	27, 227	8, 455	31. 1	377 60

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成19年12月期第1四半期	$\triangle 200$	$\triangle 46$	277	1, 788
平成18年12月期第1四半期	$\triangle 512$	$\triangle 353$	1, 926	2,870
(参考)平成 18 年 12 月期	1, 749	△792	△1,009	1, 758

[財政状態の変動状況に関する定性的情報]

当第1四半期における総資産は、29,062百万円、負債合計は20,324百万円、純資産は8,737百万円となりました。 キャッシュ・フローの状況は下記のとおりであります。

当第1四半期における現金及び現金同等物(以下[資金]という)は、前期末残高に比較して30百万円増加し、 当第1四半期末残高は1,788百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、200 百万円となりました。これは主として、売上債権の増加額 797 百万円、たな 卸資産の増加額 1,076 百万円、仕入債務の増加額 1,582 百万円、法人税等の支払額 892 百万円等によるものでありま す。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、46 百万円となりました。これは、徳山工場の設備投資額 47 百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、277 百万円となりました。これは、長期借入金の返済額 513 百万円、短期借入金の純増額 873 百万円、配当金の支払 82 百万円によるものであります。

添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書、(要約) 四半期株主資本等変動計算書

(要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(参考) 平成 19年 12月期中間期及び通期業績予想の修正(平成 19年 1月1日~平成 19年 12月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期業績予想	百万円 18, 190	百万円 1,245	百万円 725
通期業績予想	40, 400	2, 380	1, 390

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)

62 円 08 銭

[業績予想修正に関する定性的情報]

平成 19 年 12 月期中間期及び通期の業績予想につきましては、本日付発表の「平成 19 年 12 月期中間期及び通期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

*上記の中間期及び通期の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の環境変化等さまざまな要因によって予想値と大きく異なる場合があります。

1. (要約) 四半期貸借対照表

		当四半期	前年同四半期		(112.	百万円未満切捨)
科	期別	ョ四十朔 (平成19年12月期 第1四半期)	刊中四四十 期 (平成18年12月期 第1四半期)	増減	Ž	(参考) 平成18年12月期
17	П	金額	金額	金 額	増減率	金 額
	(資産の部)					
Ι.	流 動 資 産	14, 779	16, 117	△1, 338	△8.3	12, 911
	現金及び預金	1, 788	2,870	△1,082	$\triangle 37.7$	1, 758
	受 取 手 形	378	347	31	9.0	394
	売 掛 金	4, 702	4, 841	△138	$\triangle 2.9$	3, 889
	たな卸資産	7, 492	7, 654	△161	$\triangle 2.1$	6, 416
	そ の 他	420	407	12	3.2	457
	貸倒引当金	$\triangle 4$	$\triangle 4$	0	3.2	$\triangle 4$
Π.	固 定 資 産	14, 283	14, 395	△112	△0.8	14, 315
	有 形 固 定 資 産	13, 584	13, 579	5	0.0	13, 605
	無 形 固 定 資 産	15	20	$\triangle 5$	$\triangle 26.2$	16
	投資その他の資産	683	795	△112	△14. 1	694
	資 産 合 計	29, 062	30, 513	△1, 450	△4.8	27, 227
	(負債の部)					
Ι.	流 動 負 債	13, 640	15, 425	△1, 785	△12. 9	11, 658
	支 払 手 形	296	285	11	4.0	320
	買 掛 金	2,696	3, 143	$\triangle 447$	$\triangle 14.2$	1, 088
	短期借入金	6, 971	8, 547	$\triangle 1,576$	\triangle 18.4	6, 097
	一年内返済予定長期借入金	1,986	2, 139	$\triangle 152$	△7. 1	2,079
	一年内償還社債	200	_	200	_	200
	未 払 法 人 税 等	301	99	201	201.8	905
	賞 与 引 当 金	86	71	15	21.9	38
	修繕引当金	260	221	39	18.0	175
	そ の 他	841	918	△76	△30.1	751
${\rm I\hspace{1em}I}$.	固 定 負 債	6,684	7, 594	△910	$\triangle 12.0$	7, 114
	社 債	_	200	△200	_	_
	長 期 借 入 金	3, 035	3, 673	△637	$\triangle 17.4$	3, 455
	再評価に係る繰延税金負債	3, 490	3, 486	4	0.1	3, 490
	退職給付引当金	98	153	△54	△35.6	107
	そ の 他	59	81	△21	△26.9	61
	負 債 合 計	20, 324	23, 020	△2, 695	△11.7	18,772

期別	当四半期 (平成19年12月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年12月期 第1四半期)	増減	Ž	(参考) 平成18年12月期
H P	金額	金額	金額	増減率	金額
(資本の部)					
I. 資 本 金	-	1, 120	△1, 120	_	-
Ⅱ.資本剰余金	-	14	$\triangle 14$	_	-
資本準備金	-	14	$\triangle 14$	_	-
Ⅲ. 利 益 剰 余 金	-	1,093	△1,093	_	-
利 益 準 備 金	-	225	$\triangle 225$	_	-
任 意 積 立 金	_	500	△500	_	-
四半期(当期)未処分利益	_	368	△368	_	_
Ⅳ. 土地再評価差額金	_	5, 134	△5, 134	_	_
V. その他有価証券差額金	_	133	△133	_	_
VI. 自 己 株 式	_	$\triangle 2$	2	_	_
資 本 合 計	_	7, 493	△7, 493	_	_
負債・資本合計	_	30, 513	△30, 513	_	_
(純資産の部)					
I. 株 主 資 本	3, 531	_	3, 531	_	3, 243
1. 資 本 金	1, 120	_	1, 120	_	1, 120
2. 資 本 剰 余 金	14	_	14	_	14
3. 利 益 剰 余 金	2, 400	_	2, 400	_	2, 112
4. 自 己 株 式	$\triangle 2$	_	$\triangle 2$	_	$\triangle 2$
Ⅱ. 評価・換算差額金	5, 206	_	5, 206	_	5, 211
1. その他有価証券評価差額金	76	_	76	_	81
2. 土地再評価差額金	5, 130	_	5, 130	_	5, 130
純 資 産 合 計	8, 737	_	8, 737	-	8, 455
負債・純資産合計	29, 062	-	29, 062	_	27, 227

2. (要約) 四半期損益計算書

期別	当四半期 (平成19年12月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成18年12月期 第1四半期)	増	•	(参考) (参考) 平成18年12月期
科目	金額	金額	金額	増減率	金額
I. 売 上 高	9, 378	9, 373	5	0. 1	38, 282
Ⅱ. 売 上 原 価	7, 980	8, 132	△152	△1.9	32, 994
売 上 総 利 益	1, 397	1, 240	157	12. 7	5, 288
Ⅲ. 販売費及び一般管理費 営業利益	630 767	618 621	12 145	1.9	2, 543 2, 744
IV. 営業外収益	14	13	0	2. 1	67
V. 営業外費用	79	103	△24	△23. 1	420
経常利益	701	531	170	32.0	2, 391
VI. 特別損失	0	279	△279	△99.8	298
税引前四半期(当期)純利益	701	252	449	178. 3	2, 093
税金費用	290	102	187	182. 9	869
四半期(当期)純利益	410	149	261	175. 1	1, 223

3. (要約) 株主資本等変動計算書

当四半期(平成19年1月1日 至 平成19年3月31日)

		株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成 18 年 12 月 31 日残高	1, 120	14	2, 112	$\triangle 2$	3, 243			
当四半期の変動額								
剰余金の配当			△123		△123			
四半期純利益			410		410			
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額								
当四半期の変動額	-		287		287			
平成 19 年 3 月 31 日残高	1, 120	14	2, 400	$\triangle 2$	3, 531			

	評価・換		
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	純資産合計
平成 18 年 12 月 31 日残高	81	5, 130	8, 455
当四半期の変動額			
剰余金の配当			△123
四半期純利益			410
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額	△5		△5
当四半期の変動額	△5		282
平成 19 年 3 月 31 日残高	76	5, 130	8, 737

4. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

			1		単位:百万円	木両切括)
期別		半期 年 12 月期 半期)	前年同四 (平成 18年 第1四年	F12月期		考) F 12 月期
科目	金	額	金	額	金	額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー						
税 引 前 四 半 期 (当 期)純 利 益		701		252		2, 093
減 価 償 却 費		130		127		543
修 繕 引 当 金 の 増 加 額		85		221		175
売 上 債 権 の 増 減 額	Δ	797	\triangle	798		106
たな卸資産の増減額	Δ	1,076	\triangle	889		348
仕 入 債 務 の 増 減 額		1,582		471	\triangle	1, 525
利 息 の 支 払 額	\triangle	61	Δ	84	\triangle	362
法 人 税 等 の 支 払 額	Δ	892	\triangle	6	\triangle	7
そ の 他		129		194		378
営業活動によるキャッシュ・フロー	Δ	200	\triangle	512		1,749
Ⅱ. 投資活動によるキャッシュ・フロー						
有形・無形固定資産の取得による支出	\triangle	47	Δ	353	\triangle	793
そ の 他		0		0		0
投資活動によるキャッシュ・フロー	Δ	46	Δ	353	\triangle	792
Ⅲ. 財務活動によるキャッシュ・フロー						
短期借入金の純増額		873		2, 536		87
長期借入金の純減額	\triangle	513	\triangle	609	\triangle	887
そ の 他	Δ	82		-	\triangle	209
財務活動によるキャッシュ・フロー		277		1, 926	\triangle	1,009
IV. 現金及び現金同等物の換算差額		_		-		1
V. 現金及び現金同等物の増減額		30		1,060	Δ	51
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		1, 758		1,809		1,809
VII. 現金及び現金同等物の 四半期(期末)残高		1, 788		2,870		1, 758